

「新海洋混合学」国際活動支援成果報告書（2019年度分）

2020年1月4日

計画研究班名：A2-4

申請者氏名・所属・職名：中村啓彦・鹿児島大学水産学部・教授

申請者連絡先 電話・メール：099-286-4100・nakamura@fish.kagoshima-u.ac.jp

対象者氏名・所属・職名：中村啓彦・鹿児島大学水産学部・教授

対象者連絡先 電話・メール：099-286-4100・nakamura@fish.kagoshima-u.ac.jp

相手氏名・所属・職名：

Magdalena Andres・Woods Hole Oceanographic Institution・Associate Scientist

相手連絡先 住所・電話・メール：

Physical Oceanography Department, Woods Hole Oceanographic Institution

266 Woods Hole Road, Clark 311A, MS#21, Woods Hole, MA 02543, USA

508 289-2660, mandres@whoi.edu

申請項目（複数可、数字を記入）：5

1. 国際共同航海の調整, 2. 拠点形成に関わる派遣・招聘, 3. 国際共同研究関連, 4. 研究者派遣, 5. 海外研究者招聘, 6. 研究技術研修, 7. 研究動向調査, 8. その他（ ）

申請課題名：Andres 博士（ウッズホール海洋研究所）の招聘

成果報告要：別紙参照

全体計画・計画研究・公募研究への寄与：

成果報告書（別紙）に記載した通り、申請者は Andres 博士を招聘して、日本・中国・韓国の研究者と共同して、JpGU2019 で「東シナ海の黒潮と琉球海流系の観測・モデリング・理論」に関する国際セッションを主催した。このセッションのスコープには、東シナ海の黒潮流域における乱流混合過程が含まれており、OMIX プロジェクトの国際展開に貢献する構成を持たせた。実際、このセッションでは、招待講演者として、Andres 博士の他に、海洋乱流観測の専門家である Lien 博士（ワシントン大学応用物理学研究所）を招待し、2019年11月からトカラ海峡で実施される、日米の国際共同観測「The Kuroshio Interaction of Tokara Strait Topography (KITTY)」について説明して頂いた。この国際共同観測は、OMIX プロジェクトの中で A2-4 班が主要観測計画として実施した、トカラ海峡における黒潮の鉛直混合過程に関する研究成果に基づいて企画されたものである。Andres 博士の講演は、このような黒潮流域の乱流混合過程のバックグラウンドとなる、黒潮そのものに関する国際

研究動向の報告であり、このセッションのトータルな構成として不可欠な要素である。さらに、公募研究の長井健容博士、総括班の井上龍一郎博士が、このセッションで、OMIXの一環で実施したトカラ海峡とケラマ開裂での乱流観測結果を発表した。

制度の改善点・感想等：
特になし。

実際の日程：

5月25日(土)	10:30	ボストン国際空港 出発 (Air Canada 7553)
	11:45	モントリオール国際空港 到着
	13:45	モントリオール国際空港 出発 (Air Canada 5)
26日(日)	15:50	成田国際空港 到着
		26日(日) チェックイン～30日(木) チェックアウト
26日(日)～30日(木)		
		・ JpGU2019 参加
		・ 29日(水) 招待講演
		・ 29日(水) セッション参加者の交流会に参加
30日(木)	18:15	成田国際空港 出発 (American Airline 8476)
	18:15	ボストン国際空港 到着